

代表者会議【当日資料 2 - 1 - 1】

茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和 6 年度 第 2 回 就労・生活支援部会
日 時	令和 6 年 9 月 4 日（水）16:00～17:30
場 所	プラーナ湘南
事 務 局	地域生活支援センター 元町の家
部会委員 及び サポート メンバー	<p>■ 高野 宏章 部会長（ちがさきエボシライン）</p> <p>■ 鈴木 悠哉 副部会長（プラーナ湘南）</p> <p>■ 青木 暢彦 委員（茅ヶ崎市障害者施設連絡会）</p> <p>■ 渡部 司 委員（湘南地域就労援助センター）</p> <p>■ 菅 利光 委員（神奈川県立茅ヶ崎支援学校）</p> <p>□ 三浦 紗恵美 委員（神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>■ 肥後 麗子 委員（神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>□ 和田 由美子 委員（茅ヶ崎市社会福祉協議会障害者生活支援センター）</p> <p>■ 鈴木 健太 委員（茅ヶ崎市役所障がい福祉課）</p> <p>■ 竹内 智洋 事務局（地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 佐藤 右輔 事務局（地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 金野 宏美 事務局（地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 久保田 祐子 事務局（地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 池元 佑輔 氏（オブザーバー／茅ヶ崎市役所障がい福祉課）</p> <p>□ 瀬川 直人 氏（オブザーバー／ちがさき基幹相談支援センターNalu）</p> <p>□ 鐘ヶ江 麻里子 氏（オブザーバー／ちがさき基幹相談支援センターNalu）</p> <p>※ ■出席 □欠席</p>
議 題	<p>1. 「職場体験実習」を地域におろすことについて</p> <p>2. 進路に関する普及啓発について</p>
検 討 内 容	<p>1. 「職場体験実習」を地域におろすことについて</p> <p>8 月 5 日に、市内就労継続支援 B 型事業所や地域活動支援センターと意見交換を行った。</p> <p>【体験実習への応募が少なかった理由について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験させたい利用者はいたが、時期が合わなかった。 ・体験実習中は工賃が入らない。 ・体験実習の間は事業所の作業が進まない。体験実習できる方は事業所にとっ ていなくなると困る方でもある。 ・体験実習での作業内容が、普段の事業所での作業と変わらなかった。実習は 施設外就労と何が違うのか。 ・体験実習の目的やメリットが利用者には分からず、参加につながらなかった。 ・職員のサポートがないと就労が難しい方が多い。 ・職場体験実習の案内メールが事業所内での周知不足のため、職員も利用者も 知らなかった。 ・なかなか就労へ一歩が踏み出せず、就労につながらない。 ・事業所の就労に対する意識の違いがあるのか、就労させたいという意識を事 業所が持っていない場合もあるかもしれない。就労継続支援 B 型単体か、就 労移行支援をしている所との違いなのか。

- ・就労継続支援 B 型と生活介護どちらかで悩む方が多い。就労移行支援は 2 年間の縛りもあり、難しいと思うと、就労継続支援 B 型を継続する方が多い。就労継続支援 B 型から就労を目指す方は非常に少ない。就労継続支援 B 型から就労移行支援になかなかつながらない。就労継続支援 B 型を利用する方の中には将来就職できそうな方もいる。

【体験実習を活用していただくために】

- ・知っていただくために、体験実習談を掲載してはどうか。
- ・就労継続支援 B 型で、「行く場所」や「低くても工賃がある」と現状に満足してしまう、安心してしまう、という方も多いと思う。現状に慣れると、ご本人にとってステップアップは難しい。体験してメリットを感じていただけるとよい。
- ・「職場体験実習」のフローチャートを示すと、イメージを持ちやすいのではないか。

（昨年の実施の流れ：企業からの求人内容をメールで伝達→就労継続支援 B 型や地域活動支援センターの各事業所内で周知し希望者を募る→実習希望のご本人の意思確認→実習先に行って顔合わせ・打ち合せ→職場体験実習期間→振り返り）

- ・実習日数はケースバイケースで様々であり、モデル提示は難しいが、少しでも分かると、事業所にとってもその利用者が抜ける日時や期間を把握できるのではないか。

昨年は、「1 日 2 時間」、「5 日間フル」など柔軟に実習日時や期間を設けて実施した。その内容を載せてはどうか。

- ・ハードルが高いイメージがあると参加が難しくなる。気軽に参加できる（安心して送り出せる）ことを記載できるとよい。
- ・参加しやすい実施方法や時期について意見を求めてもよいのではないか。
- ・実習を楽しみにしていた利用者もいる。体験実習に期待している。経験になる。実習で得るものは多い。今後も継続して実施していくべき。

体験実習の流れや意義などについて聞き取りを行い、意見を踏まえてアンケート案を作成した。別紙参照。

受け入れ先があっても利用されなければもったいない。職場体験実習を活用していただけるようアンケートを活用したい。

2. 進路に関する普及啓発について

就労系サービスの周知アップを目的としたイベントを開催したい。

【開催日時】

- ・平日、または、土・日曜日。他市で金・土曜日などの開催例がある。
- ・アンケートで意見を求めてみてもよい。
- ・半日開催だと参加しやすいのではないか。

→秋頃の土・日曜日開催で調整する。

代表者会議【当日資料 2－1－1】

	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーホールの場合、事業所の紹介や、見学のための連絡先の交換などはOK。（営利目的の販売や契約などではない。） ・市役所前広場を利用した販売はOKかもしれない。天気による。 ・文化会館はどうか。 <p>→コミュニティーホールで検討し、早めに押さえる。</p> <p>【対象】</p> <p>主に高校生以上</p> <p>【周知方法】</p> <p>様々な社会資源・媒体を活用して広くお知らせする。</p> <p>チラシ配布、市内掲示板への掲示、市広報誌への掲載、市の SNS 活用、市障がい者支援アプリの活用など。</p> <p>【チラシ配布先】</p> <p>高校（ひきこもりの方は学校に来ないので工夫が必要）、大学の相談室、市障がい福祉課、各公共施設、自治会、市内事業所、当事者の会、病院、デイケアなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協賛を得て、何か催し物を併せて実施する方法もある。 ・チラシの表紙を利用者の方に描いていただければどうか。 ・広報先、チラシ配布先として、藤沢支援学校など他市でもOKなのか。在学・在勤の方もいる。要確認→障がい福祉課 ・チラシ作成の費用について、市に予算はあるのか、また、宝くじなどの助成金の活用は可能なのか。要確認→障がい福祉課 <p>次回の就労・生活支援部会は、12月開催の予定。メールで連絡する。</p>
課題・懸案事項	